

2015 年 6 月 29 日

各 位

日本特殊陶業株式会社

真空スイッチ用セラミックチューブ事業の資産譲渡に関するお知らせ

日本特殊陶業株式会社（社長：尾堂真一、本社：名古屋市瑞穂区）は、インドの Carborundum Universal Limited（以下、CUMI 社）に真空スイッチ用セラミックチューブ事業の生産設備の譲渡を行うことを決定いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

資産譲渡の目的

当社はテクニカルセラミックス関連事業において、現行事業の成長性ならびに当社競争力を精査し、当社が必ずしも競争力を発揮できない製品については、縮小・撤退をし、経営資源の最適配分を進めると同時に、成長が見込める分野については積極的に投資を行うなど、「選択と集中」を進めております。「選択と集中」の取り組みは、昨年 7 月発表の株式会社 MARUWA への誘電体事業の譲渡を皮切りに、今年 2 月には半導体製造装置部品の強化を目的とした株式会社日本セラテックの子会社化を発表いたしました。

真空スイッチ用セラミックチューブ(*1)につきまして、当社においては 1960 年代より生産を行ってまいりましたが、当社では今後の拡販が見込めないことから、「選択と集中」の一環として、生産設備の譲渡を検討してまいりました。CUMI 社(*2)は、従前よりインドで真空スイッチ用セラミックチューブ事業を行っております。

(*1)真空スイッチ用セラミックチューブ・・・製品の端面にメタライズを施した筒型のセラミックスのことで、電力回路・電力機器の正常動作時の負荷電流を開閉するとともに、事故電流（短絡電流）などを遮断し、負荷側設備の保護をする。チューブは電気絶縁性、気密性、機械的強度、耐久性が必要なため、セラミックスが使用されている。

(*2)CUMI 社・・・CUMI 社(Carborundum Universal Limited)は、インドの Murugappa グループに属する研磨材、産業用セラミック、エレクトロミネラルを主力とする企業。Chennai に本社を構える。本件の製造設備が使用される Bangalore 近郊の Hosur も含め、各地に工場を構える。

資産譲渡のスケジュール

今後は 2016 年 2 月を目途に、当社生産設備の CUMI 社への移管を完了させる予定です。

今後の見通し

当該事業の資産譲渡による当社の当期以降の連結業績に与える影響につきましては、軽微です。

■日本特殊陶業株式会社について

当社は、1936 年に創業し、名古屋市に本社を構える総合セラミックスメーカーです。内燃機関におけるスパークプラグ、排気酸素センサにおいては、世界トップシェアを有し、また、半導体部品におけるパッケージ、機械工具、医療用に用いられるバイオセラミックス、産業用セラミックスなど幅広いラインアップを提供しております。世界中に販売・製造拠点を有し、13,000 名を超える従業員が世界の皆さまに新たな価値を提供できるよう取り組んでいます。現在は、持続可能な社会における環境エネルギー、次世代自動車、医療などの製品開発にも取り組んでおります。今後も、「ナンバーワンかつオンリーワンのものづくり」を目指し、変革と挑戦を続けてまいります。

詳細は、当社 Web サイトをご覧ください。

<http://www.ngkntk.co.jp/>

以上

■お問い合わせ先

広報室 北河

電話:052-872-5896